



# 社会福祉法人 「京都いのちの電話」事業案内

## 2022年度活動報告・2023年度事業計画



相談員撮影 カルガモ

あの時

一つの道を歩んだ  
それから 多くの時間を経て  
わたしがいる

あの時  
選んだのか  
選ばれたのか  
定かではないが

よかったのだろうか  
他に道は無かったのか

ふと 立ち止まり  
瀬の小さないのちを眺める

(T)

社会福祉法人京都いのちの電話は、昨年4月1日を以て、開局40周年となりました。コロナ禍により、講座や行事が従来のようにできずにおりましたが、この40周年の一年は感染防止対策を工夫しながら、皆さまと共に事業を実施することができませんでした。京都府、京都市をはじめ、千人会の皆さまや、個人、企業団体等、多くの方々からご寄付を賜り、新聞各社からも広報していただきました。ご支援、ご協力に、心より感謝申し上げます。

コロナ禍は、相談員の研修や電話相談活動等にも、多くの影響を及ぼしました。相談室を分ける、身体的な距離を保つ、会話を控える等、お互いの成長や活動の実施には難しい環境での約3年間でしたが、今後は感染状況に留意しつつ、徐々に以前の状態に戻していく予定です。

このような中でも、でき得る限り受け続けた眠らぬ電話は、開局以来859,945件にのびりました(2023.5月末現在)。今も電話は鳴りやまず、様々な社会情勢の影響を受けて、相談内容は多様化、深刻化しています。その中で、京都いのちの電話では相談員の減少があり、また資金ボランティアも減少傾向にある等、多くの課題を抱えておりますが、相談員の志は引き継がれ、悩み苦しむ人の声に耳を傾け続けております。

この度私は、京都いのちの電話創設準備時より関わられ、開局30周年の時期に就任された前・平田哲理事長より、理事長を引き継ぎました。悩み苦しむ人たちに寄り添うこの活動が、世の一隅を照らすことを願い、相談員、関係者一同と共に歩んでいきたいと考えております。今後とも皆さまのご支援、ご協力を、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 京都いのちの電話 理事長 加藤 廣隆  
(京都いのちの電話 研修委員)

# 1. 京都いのちの電話 年間受信状況－2022年1月1日～12月31日－

## 《2022年度の総受信件数 17,781 件、うち「自殺傾向」は 13.3%》

3年目に入ったコロナ禍の下、行動制限が続く中で活動が行われました。その結果、22年度の総受信件数は17,781件（昨年比38件増）、そのうち男性からの電話は6,597件（同150件増）、女性からは11,184件（同82件減）でした。近年、男性の件数の減少、女性の件数は増加傾向でしたが、22年度は男性の件数が微増、女性の件数がわずかに減少

しました。件数比は昨年とほぼ同じ、男性37：女性63です。

「自殺傾向」のある電話は2,372件（昨年比247件減）、総件数に対する割合は13.3%とわずかに減少しています。内訳では、男性が1,030件（同122件減、男性総件数に対して15.6%）、女性が1,342件（同125件減、同12.0%）でした。

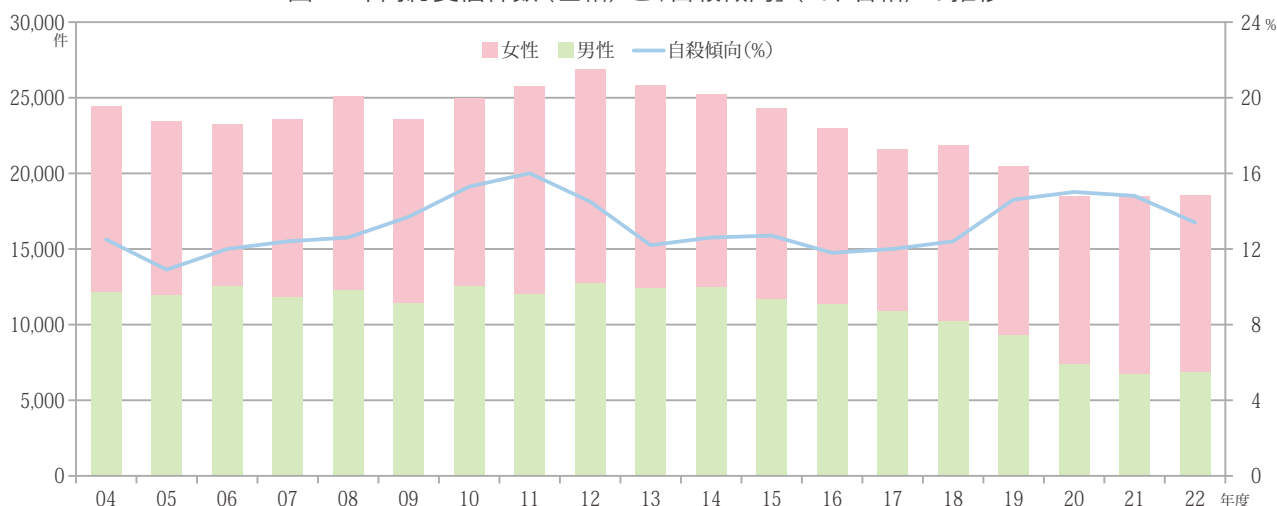
なお、1件当たりの平均受信時間は29.1分でした。

表1. 年間総受信件数、「自殺傾向」件数、平均受信時間の推移

年度	全 体			自 殺 傾 向			平均 受信時間
	男 性	女 性	総件数	男 性	女 性	総件数	
2004	11,647 (49.6)	11,798 (50.3)	23,477	952 ( 8.2)	1,991 (16.9)	2,943 (12.5)	24.4
2005	11,477 (50.9)	11,022 (48.9)	22,546	1,011 ( 8.8)	1,443 (13.1)	2,454 (10.9)	24.3
2006	12,060 (53.9)	10,278 (46.0)	22,364	1,109 ( 9.2)	1,578 (15.4)	2,687 (12.0)	25.5
2007	11,348 (50.1)	11,263 (49.8)	22,632	1,003 ( 8.8)	1,806 (16.0)	2,809 (12.4)	25.4
2008	11,808 (49.0)	12,260 (50.9)	24,085	1,262 (10.7)	1,773 (14.5)	3,035 (12.6)	23.1
2009	10,980 (48.5)	11,647 (51.4)	22,652	1,253 (11.4)	1,854 (15.9)	3,107 (13.7)	25.9
2010	12,030 (50.2)	11,907 (49.7)	23,954	1,503 (12.5)	2,165 (18.2)	3,668 (15.3)	26.0
2011	11,557 (46.7)	13,149 (53.2)	24,722	1,416 (12.3)	2,550 (19.4)	3,966 (16.0)	26.1
2012	12,236 (47.4)	13,565 (52.6)	25,801	1,461 (11.9)	2,281 (16.8)	3,742 (14.5)	24.5
2013	11,932 (48.1)	12,883 (51.9)	24,815	1,185 ( 9.9)	1,837 (14.3)	3,022 (12.2)	25.4
2014	12,007 (49.5)	12,249 (50.5)	24,256	1,248 (10.4)	1,811 (14.8)	3,059 (12.6)	24.7
2015	11,268 (48.3)	12,055 (51.7)	23,323	1,292 (11.5)	1,668 (13.8)	2,960 (12.7)	24.2
2016	10,929 (49.5)	11,159 (50.5)	22,088	1,214 (11.1)	1,399 (12.5)	2,613 (11.8)	26.7
2017	10,464 (50.5)	10,264 (49.5)	20,728	1,253 (12.0)	1,226 (11.9)	2,479 (12.0)	27.2
2018	9,831 (46.8)	11,170 (53.2)	21,001	1,255 (12.8)	1,352 (12.1)	2,607 (12.4)	27.9
2019	8,963 (45.6)	10,676 (54.4)	19,639	1,420 (15.8)	1,438 (13.5)	2,858 (14.6)	28.9
2020	7,142 (40.2)	10,633 (59.8)	17,775	1,143 (16.0)	1,527 (14.4)	2,670 (15.0)	28.3
2021	6,447 (36.3)	11,266 (63.5)	17,743	1,152 (17.9)	1,467 (13.0)	2,619 (14.8)	28.5
2022	6,597 (37.1)	11,184 (62.9)	17,781	1,030 (15.6)	1,342 (12.0)	2,372 (13.3)	29.1

( )内は総件数に対する%。「自殺志向」では各性に対する%。平均相談時間は分/件。「男性」「女性」は性自認に基づくものです。

図1. 年間総受信件数(左軸)と「自殺傾向」(%、右軸)の推移



## 《心の不調・病いを訴える相談71.7%に》

様々な神経症症状、気分障がい、統合失調症など心の不調や病いを訴える方からの受信件数は12,745件、昨年度より391件減少、総件数に対する割合は2.3%減少し71.7%となりました(男性1.4%減、女性3.1%減)。2014年度以降、常に60%を超え、コロナ禍の2020年度以降はさらに急増しました。今回微減に転じましたが、依然高止まり傾向にあり、今後も動向を注視する必要があるでしょう(表2, 図2参照)。

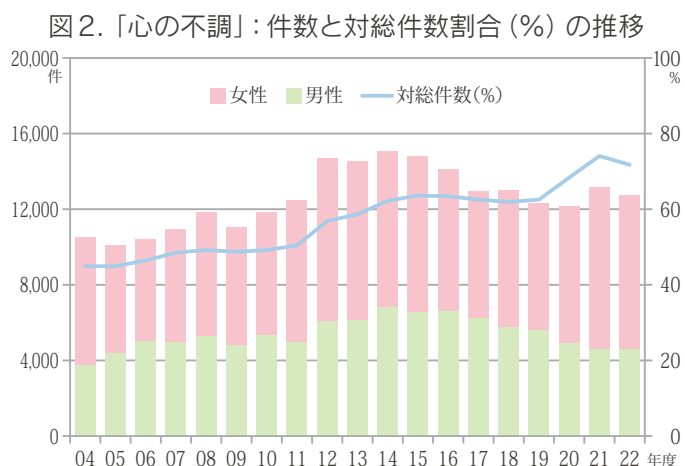


表2. 「心の不調」を訴える相談件数の推移

年度	男性	女性	合計
2004	3,813 (32.7)	6,715 (56.9)	9,991 (42.6)
2005	4,425 (38.5)	5,690 (51.6)	10,124 (44.9)
2006	5,033 (41.7)	5,344 (52.0)	10,387 (46.4)
2007	4,976 (43.9)	5,992 (53.2)	10,974 (48.4)
2008	5,319 (45.0)	6,531 (53.3)	11,856 (49.2)
2009	4,809 (43.8)	6,231 (53.5)	11,049 (48.8)
2010	5,343 (44.4)	6,444 (54.1)	11,795 (49.2)
2011	4,991 (43.2)	7,498 (57.0)	12,496 (50.5)
2012	6,111 (49.9)	8,555 (63.1)	14,666 (56.8)
2013	6,183 (51.8)	8,347 (64.8)	14,530 (58.6)
2014	6,865 (57.2)	8,221 (67.1)	15,086 (62.2)
2015	6,586 (58.4)	8,245 (68.4)	14,831 (63.6)
2016	6,632 (60.7)	7,452 (66.8)	14,084 (63.8)
2017	6,289 (60.0)	6,668 (65.0)	12,957 (62.5)
2018	5,800 (59.0)	7,207 (64.5)	13,007 (61.9)
2019	5,609 (62.6)	6,666 (62.4)	12,275 (62.5)
2020	4,951 (69.3)	7,209 (67.7)	12,160 (68.4)
2021	4,623 (71.7)	8,513 (75.6)	13,136 (74.0)
2022	4,636 (70.3)	8,109 (72.5)	12,745 (71.7)

( )内は各性、および全体に対する%。

## 《年代別・内容別の受信状況》

図3「全体」の年代別・男女別分布('22年度)は、全体の受信状況を示しています。総受信件数は17,781件です。男女とも40歳代～50歳代の方からが多く、総受信数の58.1%を占めています。どの年代でも女性の相談件数が上回っています。また数値は低いのですが、20歳未満の相談も挙がっています。

図4「自殺傾向」の年代別・男女別分布('22年度)で見ますと、受信件数は全体で2,374件です。内40歳代～50歳代が57.3%を占めています。年代別に見ると40歳代は男女ほぼ同数で、それ以外は女性が上回っています。

図5. 図6(4ページ)の受信内容・項目を見ますと、男女ともに概ね「精神」「人生」「対人」「家族」「職業」の順で続き、自殺傾向の背景もほぼ同様で、相談内容は多岐にわたっています。

図3. 「全体」の年代別・男女別分布('22年度)

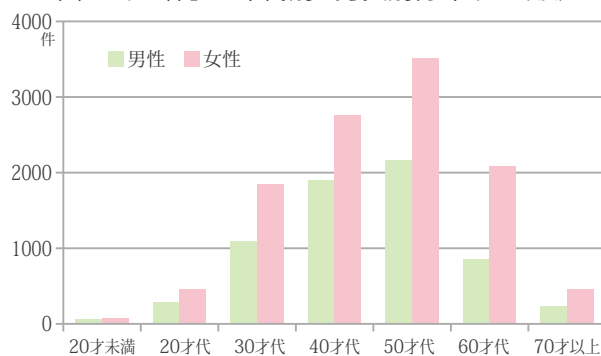


図4. 「自殺傾向」の年代別・男女別分布('22年度)

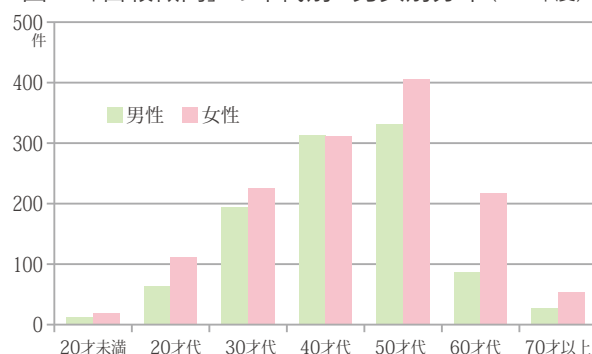


図5. 内容別・男女別分布('22年度)

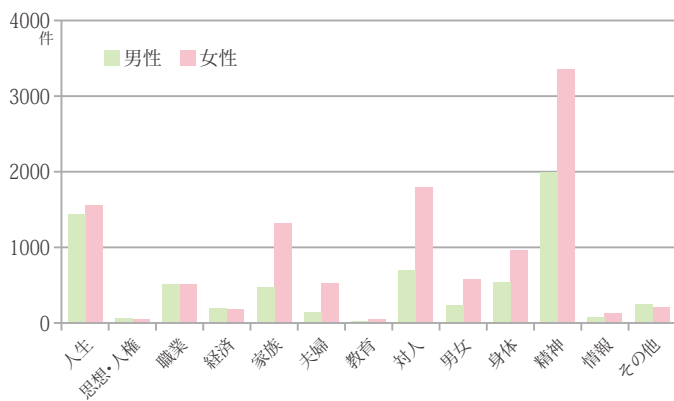
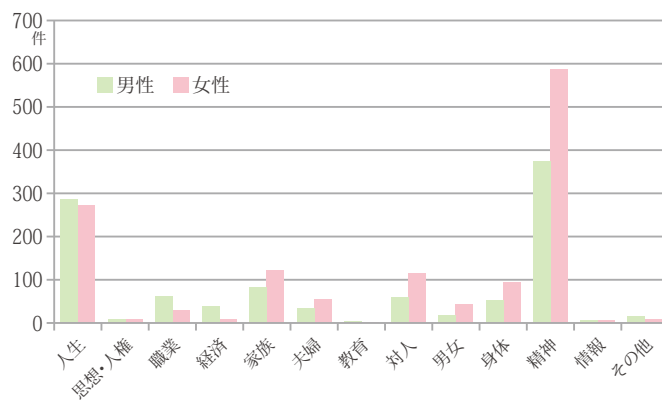


図6. 「自殺傾向」の内容別・男女別分布('22年度)



(京都いのちの電話 広報チーム)

## 2022年度 全国いのちの電話受信状況・全体 (日本いのちの電話連盟統計による)

\* 「全体」は「通常ダイヤル」+「ナビダイヤル」+「フリーダイヤル(含・毎日フリーダイヤル)」の総計です。

1. 「自殺傾向」件数の割合：全国12.6%、京都13.3%

	全 体(全国)			自殺傾向(全国)		
	男	女	計	男	女	計
22年	264,847	279,368	544,215	29,824	38,740	68,564
21年	255,638	270,643	526,281	27,765	36,362	64,127
20年	261,093	259,661	520,754	25,739	33,442	59,181

2. 「自殺傾向」件数の内訳('22年度)

	全 国	京 都
念 慮	63,141	2,206
危 険	3,797	115
予・通告	1,383	46
実行中	243	7
計	68,564	2,374

## 2022年度『自殺予防いのちの電話(フリーダイヤル)』の受信状況 (日本いのちの電話連盟統計による)

\* 20年6月20日から実施されている「毎日フリーダイヤル」の受信件数も含んでいます。

1. 「自殺傾向」件数の割合：全国22.3%、京都18.5%

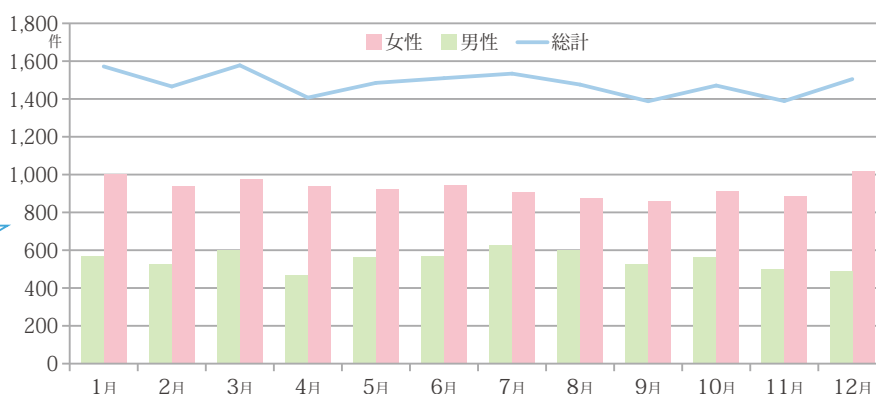
	全 体(全国)			全 体(京都)			自殺傾向(全国)			自殺傾向(京都)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
22年	25,570	28,314	53,884	235	247	482	5,267	6,773	12,040	41	48	89
21年	25,580	29,403	54,983	301	344	645	5,577	6,958	12,535	67	98	165
20年	19,174	19,380	38,554	462	561	1,023	4,555	5,319	9,874	134	147	281

2. 「自殺傾向」件数の内訳('22年度)

	全 国
念 慮	11,082
危 険	719
予・通告	211
実行中	28
計	12,040

女性からの受信が多い状況が続いています。相談員が減少する中、概ね月1500件前後の受信件数を保っています。

## 2022年度 京都いのちの電話 月別受信状況



## 2. 活動報告 - 2022年4月1日 ~ 2023年3月31日 -



5/21 ~ 22 38期・39期フォローアップ研修



7/9 45期 気づきのワーク



11/13 40周年記念公開講演会  
(柳田邦男氏)



1/15 43期認定後フォローアップ研修

京都いのちの電話は、2022年度も研修や講演会等、様々な活動を実施しました。その内容をお伝えします。

### 相談員養成講座(第44期・45期)

- 4月16日(土) 44期2年次セミナー開講・オリエンテーション『いのちの電話相談の在り方』(岡田盾夫氏・中瀬真弓氏)
- 5月10日(火) 44期グループ研修(～11月・各グループ全6回)(岡田盾夫氏・加藤廣隆氏・仲倉高広氏)
- 14日(土) 45期開講式・前期オリエンテーション『「いのちの電話」の基本理念』(岡田盾夫氏・中瀬真弓氏)
- 28日(土) 45期養成講座『ボランティア論』(高木総平氏)
- 6月11日(土) 45期養成講座『電話相談概論』(中西龍一氏)
- 18日(土) 45期養成講座『応答実習』(～9月・各グループ全7回)(研修スタッフ)
- 7月2日(土) 44期2年次セミナー『精神医学概論』(武本一美氏)
- 9日(土) 45期養成講座『気づきのワーク①』(中西龍一氏)
- 30日(土) 44期2年次セミナー『発達障害の方からの電話』(定本ゆきこ氏)
- 9月17日(土) 44期2年次セミナー『相互ミラー描画展開法』(名取琢白氏)
- 24日(土) 45期養成講座『自殺と危機介入』(岡田盾夫氏)
- 10月1日(土) 44期2年次セミナー『電話相談の背景を把握する』(柴田長生氏)
- 8日(土) 45期養成講座 後期オリエンテーション(研修スタッフ)
- 22日(土) 45期養成講座『電話相談の現状①』(平木久代氏)
- 29日(土) 45期養成講座『電話相談に関わる基礎』(研修スタッフ)
- 11月5日(土) 45期養成講座『電話相談の現状②(精神科領域)』(中瀬真弓氏)
- 26日(土) 44期2年次セミナー『死を見つめ、考える』(宮川裕美子氏)
- 45期養成講座『電話相談の想定と実際』(平田真貴子氏)
- 12月3日(土) 44期2年次セミナー『精神科領域の電話相談』(北村隆人氏)
- 7日(水) 45期養成講座 グループ研修(各グループ全3回)

### 2023年

- 1月21日(土) 45期養成講座『精神につらさを抱える人とともに』(金井浩一氏)
- 2月4日(土) 45期養成講座『DVと児童虐待』(安保千秋氏)
- 18日(土) 44期2年次セミナー『グリーンケア』(加藤廣隆氏)
- 25日(土) 45期養成講座『わかちあい』(高田育子・岸田美保・中瀬真弓研修委員)
- 45期養成講座『電話相談の臨床心理学視点』(小林哲郎氏)
- 3月25日(土) 45期養成講座『気づきのワーク②』(仲倉高広氏)

### 相談員研修

- 4月30日(土) スーパーヴァイザーフォローアップ研修(～10月・全6回)(加藤廣隆氏)
- 5月21日(土) 38期・39期フォローアップ研修(～22日)(仲倉高広氏・研修スタッフ)
- 10月5日(水) JR西日本あんしん社会財団後援 いのちの電話近畿ブロック合同研修会  
『「話す・聞く」は「生きる力・生きる喜び」』(末松渉氏)(スーパーヴァイザー・事務局)
- 19日(水) スーパーヴァイザーの会(中瀬真弓氏)
- 11月26日(土) 42期自主研修(仲倉高広氏)

### 2023年

- 1月15日(日) 43期認定後フォローアップ研修(名取琢白氏)
- 29日(日) 相談員全体研修『昭和のマンガにみる悩みと“相談”』(名取琢白氏)
- 2月11日(土) 相談員全体研修『相談員として知っておいてほしいこと・・・精神的な病を抱えることの苦しみと生きづらさ』(山下俊幸氏)
- 3月26日(日) 相談員全体研修『苦情の現状』(中瀬真弓氏)

### 事務局日誌

- 4月8日(金) 京都府総合教育センター電話相談研修会 講師(～4/15・全2回)(中瀬真弓事務局長)
- 16日(土) 広報チーム会議  
第1回40周年記念誌チーム会議
- 23日(土) 45期養成講座受講者面接
- 30日(土) 日本いのちの電話連盟(FIND) 研修委員会ワーキンググループ会議①(於: 東京)(岡田盾夫研修委員長)
- 5月8日(日) 第1回40周年ニュースレター特別号チーム会議
- 10日(火) 内部監査(会計・業務)(石田晋治監事・佐藤剛監事)
- 12日(木) 第104回理事会



1/22 『花と名曲』いのち奏でるコンサート  
(京都カルテット deMoone)



2/11 相談員全体研修 (山下俊幸氏)



- 13日(金) 第2回40周年記念誌チーム会議
- 16日(月) FIND研修委員会会議①(リモート)(岡田盾夫研修委員長)
- 26日(木) 福知山市自殺対策協議会(中瀬真弓事務局長)
- 28日(土) 第2回40周年ニュースレター特別号(相談員の声チーム)会議
- 30日(月) 京都市監査指導課・監査説明会(中瀬真弓事務局長 他)
- 6月 1日(水) 第84回評議員会
- 2日(木) 洛北ロータリークラブ 寄付金贈呈式(中瀬真弓事務局長)
- 9日(木) 第3回40周年記念誌チーム会議
- 12日(日) 座談会(ニュースレター特別号掲載 42期・43期)
- 13日(月) FIND研修委員会ワーキンググループ会議②(リモート)(岡田盾夫研修委員長)
- 19日(日) 第3回40周年ニュースレター特別号チーム会議
- 20日(月) 京都府社会福祉協議会 評議員会(平田眞貴子理事)
- 25日(土) FIND社員総会(リモート)(岡田盾夫研修委員長 代理出席)
- 7月 2日(土) FIND全国事務局長会議(リモート)(中瀬真弓事務局長)
- 4日(月) FIND研修委員会会議②(リモート)(岡田盾夫研修委員長)
- 10日(日) 座談会(ニュースレター特別号掲載)
- 第4回40周年ニュースレター特別号(相談員の声チーム)会議
- 12日(火) 京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会(中瀬真弓事務局長)
- 14日(木) 第4回40周年記念誌チーム会議
- 17日(日) 第5回40周年ニュースレター特別号チーム会議
- 22日(金) NTT労働組合 寄付金贈呈式(中瀬真弓事務局長)
- 8月 24日(水) 久御山町傾聴ボランティア・傾聴講座 講師(中瀬真弓事務局長)
- 29日(月) FIND研修委員会ワーキンググループ会議③(リモート)(岡田盾夫研修委員長)
- 9月 1日(木) 京都市 孤独・孤立に関する連携協定 締結
- 11日(日) 自殺予防学会シンポジウム熊本(リモート)(中瀬真弓事務局長 他)
- 22日(木) 第5回40周年記念誌チーム会議
- 24日(土) 第1回研修委員会
- 25日(日) 第6回40周年ニュースレター特別号チーム会議
- 10月 17日(月) FIND研修委員会会議③(リモート)(岡田盾夫研修委員長)
- 19日(水) 京都府知事・京都府社会福祉協議会メンバーとの懇談会(平田眞貴子理事)
- 11月 1日(火) IND相談員全国研修会・交流会(11/1~12/31)(オンライン)
- 5日(土) 40周年記念事業準備会議(準備会スタッフ)
- 7日(月) FIND研修委員会ワーキンググループ会議④(リモート)(岡田盾夫研修委員長)
- 13日(日) 『新相談員・新干時間メンバーを祝う会』(記念式典参加者74名)
- 『40周年記念公開講演会 ことばと生きなおす力』(柳田邦男氏)(於:ウイングス京都)
- 40周年記念誌『聴く・感じる・思う・考える』(2500冊発行)・ニュースレター特別号(3000冊発行)
- 15日(火) 精華町傾聴ボランティア 傾聴講座 講師(中瀬真弓事務局長)
- 28日(月) 福知山市自殺対策協議会(中瀬真弓事務局長)
- 12月 7日(水) 京丹後市「こころ・いのち・つながり」研修会 講師(中瀬真弓事務局長)
- 13日(火) 京都ワイズメンズクラブ・クリスマス例会(中瀬真弓事務局長)
- 16日(金) 広報チーム会議
- 19日(月) FIND研修委員会会議④(リモート)(岡田盾夫研修委員長)

2023年

- 1月 16日(月) FIND研修委員会ワーキンググループ会議⑤(リモート)(岡田盾夫研修委員長)
- いのちの電話 近畿・中部ブロック会議(リモート)(中瀬真弓事務局長)
- 18日(水) 京丹後市「こころ・いのち・つながり」中級者向け研修会 講師(中瀬真弓事務局長)
- 20日(金) 市民対象・初心者向け傾聴講座(～2/25・全3回)(於:ウイングス京都)(中瀬真弓・高田育子研修委員・研修スタッフ)
- 22日(日) 『花と名曲』いのち奏でるコンサート(京都カルテット deMoone)・ミニバザー(於:京都府民ホール アルティ)
- 2月 10日(金) 京都府自殺対策推進協議会(平田眞貴子理事)
- 13日(月) FIND研修委員会会議⑤(リモート)(岡田盾夫研修委員長)
- 18日(土) 城陽市「傾聴ボランティアコスモス・傾聴講座」講師(中瀬真弓事務局長)
- 24日(金) 福知山市自殺対策協議会(中瀬真弓事務局長)
- 28日(火) 京都市自殺総合対策連絡会(中瀬真弓事務局長)
- 3月 4日(土) 第2回研修委員会
- 11日(土) 第105回理事会
- 13日(月) FIND研修委員会ワーキンググループ会議⑥(リモート)(岡田盾夫研修委員長)
- 21日(火) 第46期ボランティア相談員養成講座説明会『私たちが必要とされるわけとその役割』～この社会が京都いのちの電話に求めるものとは～(岸田美保氏)(ハートピア京都)
- 23日(木) 宇治市「傾聴ボランティアかかし・傾聴講座」講師(中瀬真弓事務局長)
- 29日(水) 京都府社会福祉協議会 評議員会(平田眞貴子理事)

### 3. 財務報告

#### 2022(令和4)年度 決算報告

##### 2022年度 経常会計収支決算書

(自2022年4月至2023年3月)

収入の部		単位：円
科目	金額	
千人会(個人)	2,230,000	
千人会(団体)	1,180,000	
賛助・寄付	23,419,633	
賛助・募金, 他	1,018,543	
40周年記念募金	1,094,350	
京都府補助金	2,500,000	
京都府補助金(自殺対策費)	2,000,000	
京都市補助金	2,000,000	
共同募金会助成金	600,000	
NHKたすけあい義援金	165,000	
その他の事業収入	1,337,500	
講座受講料等	1,138,500	
利息・雑収入等	484,663	
収入総合計	39,168,189	

##### 2022年度 貸借対照表

(2023年3月31日現在)

借方		単位：円
科目	金額	
現金預金	37,866,675	
基本財産	65,000,000	
建物・器具備品	9,060,891	
電話加入権	303,540	
出資金	1,000,000	
差入保証金	1,321,200	
合計	114,552,306	

\* 4月12日に特別寄付2000万円あり。寄付者の意向により「使途・目的が明確に特定されている寄付金(養成事業に80万円を25年に渡って使う)」として事務処理している。

支出の部		単位：円
科目	金額	
事業費 水道光熱費	808,864	
事業費 研修費	7,363,702	
事業費 通信費・交通費	496,332	
事業費 広報費	520,074	
事業費 消耗器具備品費・雑費	156,933	
事業費 会場費	60,620	
事業費 賃借料	4,094,640	
事業費 リース料	120,942	
40周年事業費	1,035,929	
事務費	400,829	
人件費	3,999,132	
減価償却費	1,382,055	
その他	303,000	
当期収入差額	18,425,137	
支出総合計	39,168,189	

貸方		単位：円
科目	金額	
事業未払金	1,026,474	
預り金	25,039	
仮受金	135,092	
退職給付引当金	286,000	
基本金	65,000,000	
次期繰越活動増減差額	48,079,701	
(うち当期活動増減差額)	18,425,137	
合計	114,552,306	

#### 2023(令和5)年度 予算書

##### 2023年度 経常会計収支予算書

(自2023年4月至2024年3月)

収入の部		単位：円
科目	金額	
千人会(個人)	3,000,000	
千人会(団体)	1,300,000	
賛助・寄付	3,500,000	
賛助・募金	2,000,000	
京都府補助金	2,500,000	
京都府補助金(自殺対策費)	2,000,000	
京都市補助金	2,000,000	
その他の事業収入	1,500,000	
講座受講料等	2,000,000	
利息・雑収入等	200,000	
収入総合計	20,000,000	

支出の部		単位：円
科目	金額	
事業費 水道光熱費	800,000	
事業費 研修費	7,550,000	
事業費 通信費・交通費	810,000	
事業費 会場費	300,000	
事業費 広報費	1,000,000	
事業費 消耗器具備品費・雑費	450,000	
事業費 リース料	150,000	
事業費 賃借料	4,100,000	
事務費	410,000	
人件費	4,100,000	
その他	300,000	
予備費	30,000	
支出総合計	20,000,000	

### 4. 2023年度 事業計画

#### I. 電話相談

- ・年中無休「眠らぬダイヤル」の受信体制の維持・強化を推進する。
- ・コロナ禍対策は引き続き、相談員・研修生の安全を確保するための三密対策、館内消毒を行う。  
養成講座・全体研修とも35名以上になる場合は他会場で実施、あるいは分散実施。
- ・応募人員の減少、相談員の減少に対し、広報活動を工夫し相談員増加を目指す。
- ・相談員の資質向上を図り、相談内容の深刻化・複雑化に対応できるよう研修を企画・実施する。
- ・075-864-4343 全国から24時間受け付ける。
- ・日本いのちの電話連盟ナビダイヤル事業に参加する。(24時間) 0570-783-556

- ・フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」(毎月10日8時～22時)を受信する。  
0120-783-556

#### II. 広報活動 啓蒙活動

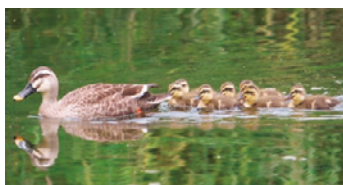
- ・事業案内・事業報告の発行(7月) ニュースレターの発行(11月、3月)を行う。
- ・ナビダイヤル番号を含めた相談電話番号の周知徹底 ポスター、シール、名刺型カレンダーの発行・配布を行う。
- ・マスコミへの情報提供、連絡促進をはかる。
- ・協賛広告の開拓に努める。
- ・ホームページを充実させる。
- ・京都府市民対象「傾聴講座」を引き続き実施する。
- ・今後のICT活用に向けて「未来に向けた話し合いグループ」を立ち上げる。

#### III. 財源の調達、募金計画

- ・千人会後援会費の個人・団体会員への継続依頼と新規加入の働きかけを強化する。
- ・補助金・助成金の申請、新規開拓に努める。
- ・歳末募金、特別賛助金の調達の工夫に努める。
- ・チャリティーコンサートを主催する。

#### 〈京都府自殺対策基金事業〉

- ・自殺対策に携わる相談員資質向上のための特別研修の実施をする。
- ・自殺対策に携わる相談員がその役目を果たす為に必要な機器の購入及び相談室の環境整備をおこなう。
- ・自殺対策に携わる相談員確保のための広報活動をおこなう。
- ・府民・市民に傾聴講座を提供し、府市民レベルでの細やかな自殺対策に協力する。



表紙の写真について

【カルガモ】カモ科。全長60.5cm、体色は雌雄同色。本州以南では留鳥として繁殖しており、初夏になるとヒナを連れた家族の様子がテレビで放映される。冬になると越冬のために渡来する群れが加わって生息数が増える。繁殖期に平地の水辺や山間地の湿地、水田などで観察され、冬には川や池などで他のカモ類に混じっているのが見られる。(提供：日本野鳥の会京都支部)

京都いのちの電話では、コロナ禍中でもでき得る限り、24時間365日、電話相談活動を続けてきました。約3年間、皆で本当によくがんばってきたと思います。相談員の声を集めてみました。

混んでいる電車を避けて各駅停車を使いました。

材料を工夫して、飛沫防止シートやアクリル板を手作りしました。



家族の協力や応援が、相談活動を後押ししてくれました。

我慢した感覚は無いのですが、ほぼ雑談をしませんでした。あたり前のようにしていた人との付き合い方を、変えざるを得ませんでした。

一緒にいて自然に話ができるように、これから戻っていけたらと思います。

駅の改札口や相談室などで、こまめに手指をアルコール消毒しました。



第2相談室を設置

感染防止対策をいろいろ工夫したことが、相談員同士の感染を防ぎ、家族の感染も防ぎました。



点けて  
換気扇  
空気清浄機  
加湿器を

アルコール消毒液や除菌ウエットティッシュが手に入らず、手分けて買ったり、自宅から持参してくれたり、助かりました。



仲間から「電話相談活動に行くのは、不要不急の外出じゃないよね」と言われ、そのとおりだと思いました。

関係各所より運営へのご支援ご協力や、アルコール消毒液・アクリル板・空気清浄機・換気扇の設置費用等のご寄付をいただきました。コロナ禍でも環境を整え、相談活動を続けてきましたのは、皆さまのお陰です。心より御礼申し上げます。今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

### 資金ボランティアのお願い

京都いのちの電話の活動は、みなさまからのご支援により運営されております。あなたも京都いのちの電話を支えるおひとりになっていただけませんか？

- 千人会費は(個人)年間1万円、(法人・団体)1万円・5万円・10万円です。
  - 自由な金額をご賛助いただくこともできます。
  - 遺言・遺産のご寄付も承ります。
- \* 会費と寄付は税法上優遇措置が受けられます。  
\* 銀行振込の場合、ご住所をお知らせください。領収書をお送りいたします。

振込先は以下のいずれかになります。  
郵便振替：01050-0-44782  
銀行振込：三菱東京UFJ銀行京都支店 普通299707  
京都銀行帷子の辻支店 普通130302  
口座名：社会福祉法人 京都いのちの電話

- 理事長 加藤 廣隆 釘抜地藏石像寺住職  
理事 安保 千秋 弁護士・都大路法律事務所  
同 岸田 美保 京都いのちの電話研修委員長  
同 定本ゆきこ 精神科医・京都少年鑑別所事務課長  
同 續木 泰子 京都いのちの電話広報事業担当  
同 中瀬 真弓 京都いのちの電話事務局長  
同 長谷 幹雄 長谷ビルディンググループ会長  
同 平田真貴子 前京都いのちの電話事務局長  
監事 石田 晋治 元京都文教大学 総務部長  
同 佐藤 剛 元社会福祉法人同胞会理事・同胞の家施設長  
評議員 河瀬 雅紀 龍岡病院診療部顧問・京都ノートルダム女子大学名誉教授  
同 鷲 珠江 河井寛次郎記念館学芸員  
同 櫻木 園子 医師・京都工場保健会  
同 柴田 鉄也 歯科医師・菊水流尺八道二代宗家・柴田歯科医院  
同 東村はるみ 元KAI居宅介護支援事業所管理者  
同 藤谷 徳孝 元大谷大学企画・入試部事務部長  
同 南 明美 看護師・看護教員・おかやま在宅クリニック  
同 山口 基樹 司法書士・山口基樹司法書士事務所  
同 渡邊 高志 医療法人社団淀さんせん会金井病院理事

- 研修委員  
岸田 美保 ひなぎく心理ルーム・臨床心理士・公認心理士  
江崎 和子 園田学園女子大学人間健康学部 総合健康学科 教授  
加藤 廣隆 釘抜地藏石像寺住職・臨床心理士  
柴田 長生 京都文教大学こども教育学部こども教育学科教授  
高木 総平 岐阜済美学院宗教総主事 中部学院人間福祉学科教授  
高田 育子 京都府精神保健福祉総合センター  
仲倉 高広 京都ノートルダム女子大学現代人間学部心理学科特任講師・臨床心理士  
中瀬 真弓 京都いのちの電話事務局長・精神保健福祉士  
中西 龍一 京都橘大学健康科学部心理学科教授・臨床心理士  
名取 琢自 京都文教大学臨床心理学科教授・臨床心理士・公認心理士  
平木 久代 精神科医  
平田真貴子 前京都いのちの電話事務局長  
福岡 一穂 カトリック京都教区司祭・京都教区学園理事長

(50音順 敬称略)

事務局 事務局長 中瀬 真弓 ほかに4名

### 京都いのちの電話

- 24時間眠らぬダイヤル 075-864-4343
- ナビダイヤル 0570-783-556
- 自殺予防 いのちの電話(毎月10日) 0120-783-556



社会福祉法人  
京都いのちの電話

〒616-8691 京都西郵便局 私書箱35号  
TEL 075-864-1133・FAX 075-864-1134  
<http://kyoto-lifeline.com>